

2024 年 7 月 10 日 第 1 版

研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 内科学 教室

記

| | |
|------------------------|---|
| 研究の名称 | 院外心停止症例に対するエピネフリン投与で発生する搬送時間遅延と予後の関連の検討 |
| 対象 | 2005 年 1 月 1 日から 2023 年 1 月 31 日までの期間に心停止のため救急搬送された患者さんの情報を研究に利用します。本学では、200 万例を予定しています。 |
| 研究期間 | 研究実施許可日 ~ 2029 年 3 月 31 日 |
| 試料・情報の利用 目的及び利用方法 | 利用目的：患者さんの診療情報を多方面から解析することにより、心停止された方の予後改善への方策を検討します。 利用方法：患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。 利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日 |
| 利用し、又は提供する 試料・情報の項目 | 試料：なし 情報：年齢、性別、心停止発生時刻、1 か月後生存の有無、1 か月後脳機能等 |
| 利益相反について | 本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、 |

